

3 主体的・対話的で深い学び

1 「主体的・対話的で深い学び」とは

- 主** 児童生徒が課題解決に向けて、見通しを持って粘り強く取り組み、学習を振り返って、その後の学習につなげていく「**主体的な学び**」
- 対** クラスメイトとの協働や、教師等との対話、資料の読解を通して、考えを広げ深める「**対話的な学び**」
- 深** 各教科の「見方・考え方」を働かせ、情報を精査したり、課題解決の方法を見いだしたり、新たな価値を創造したりするなどの「**深い学び**」

2 授業改善に向けた視点

	学習者（児童生徒）の視点	授業者（教師）の視点
主体的な学び	・学ぶことに興味関心を持つ ・見通しを持つ ・粘り強く取り組む ・学習活動を振り返って、次につなげる ・自己のキャリア形成の方向性と関連づける 	・具体物を提示して引きつける ・児童生徒が学びたい課題を設定する ・課題解決の方向性について見通しを持たせる ・児童生徒が自分の考えを持てるようにする ・児童生徒の考えを生かしてまとめる ・その日の学びを適切に振り返らせる ・新たな学びに目を向けさせる
対話的な学び	・児童生徒同士の協働を通じ、自分の考えを広げ深める ・教師との対話を通じ、自分の考えを広げ深める ・地域の人や家族等との対話を通じ、自分の考えを広げ深める ・先哲の考え方を手がかりに考える	・児童生徒の思考を交流させる ・他者との交流を通じて思考を広げさせる ・他者と協働して課題解決する場面を設ける ・教師との対話や発問、板書等で児童生徒の学びを引き出す 
深い学び	・各教科の「見方・考え方」を働かせる ・知識を相互に関連づけて、より深く理解する ・情報を精査して、考えを形成する ・問題を見いだして、解決策を考える ・思いや考えを基に、創造する 	・各教科等の特質に応じた『見方・考え方』を働かせることのできる課題解決する場面を設定する ・単元を通して、目標とする資質・能力を明確にする ・試行錯誤や考える過程を重視する ・多様な体験や考えが生まれる学習活動、教材を工夫する ・単元の終盤に、身につけた知識・技能を活用して課題解決する場面を設定する